

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)
FNCAの活動方針に関する共同コミュニケ(仮訳)
2019年12月5日採択(於東京)

我々、FNCA参加国であるオーストラリア連邦、バングラデシュ人民共和国、中華人民共和国、インドネシア共和国、日本、カザフスタン共和国、大韓民国、マレーシア、モンゴル国、フィリピン共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の代表は、

積極的なパートナーシップを通じて、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、地域の社会的経済的発展を促進するとともに、加盟国の社会的、経済的充実につながる研究開発、知識と情報の共有及びその蓄積がFNCAの主要な役割と活動目的であることを想起し、

原子力は、エネルギー安全保障、ベースロード電源へのアクセス及び温室効果ガス排出の削減又は回避に貢献し得るとの「G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」閣僚声明(2019年6月)に留意し、

持続可能な農業発展、食物安全、環境に配慮した工業開発、気候変動への影響軽減及び自然生態系の保護の分野における放射線技術の潜在的可能性と FNCA プロジェクトの価値を認め、

2019年のスタディ・パネルで討議した環境影響評価(EIA)が環境破壊防止のために、また、原子力安全に関する法制への適切な組み込みによって、原子力技術に対する公衆認識を高め、信頼を上げるために有効であることを認識し、

FNCA 放射線治療プロジェクトとそれに付随する子宮頸がん、咽頭がん、乳がんについての臨床研究の進捗、及び放射線治療の先端技術と機器についての産学交流の重要性を認識し、

原子力科学・技術分野における必要な人材基盤強化の重要性を認識し、

加盟国の発展に寄与できる研究炉、及び NAA, BNCT、NR、材料研究及び放射性同位体の生産など、その応用の重要性を認識し、

IAEA や OECD/NEA に代表される国際的関連機関、米国 NRC を含む関連組織との連携の重要性を認識し、

FNCA プロジェクト活動の進捗を評価し、第 3 回 FNCA 賞受賞者の際立った功績を称え、

天野 IAEA 前事務局長の不断の努力、特に世界的な社会・経済発展のために原子力科学・技術の安全で平和的な利用について発揮された強いリーダーシップを評価し、またご家族、ご友人そして同僚各位に弔意を表し、

以下に向けて活動する

1. 放射線治療の促進

アジア地域における放射線を利用したがん治療の拡大を促進する。

アジア地域のがん治療に取り組む FNCA 放射線治療プロジェクトを、プロジェクトリーダーの主導の下、2019 年の MLM の円卓会議の支持に沿って継続して促進する。

また、革新的な放射線治療技術の進展や普及に向けた取組を強化する。

2. 気候変動対策及び環境保護における協力

2020 年スタディ・パネルにて、「核同位体技術と気候変動科学」をメインピックとして採りあげることを含め、気候変動対策及び環境保護における協力の強化を加盟国に促す。

3. 農業と工業分野における研究開発成果の利用の拡大

放射線育種、放射線加工、研究炉利用及び中性子放射化分析などのプロジェクト技術成果の最終ユーザーによる利用を、社会経済へより効果的な貢献ができる商業化の可能性も考慮しながら、加盟国において促進する。

4. その他促進すべき分野と活動

加盟国全般で優先度の高い、放射線治療、環境保護、農業・食品安全に関連する原子力科学・技術の応用に関する分野、及び核の安全と保全文化のための基盤開発についての分野における活動を拡大する。

また、加盟国が幅広く関心を持ち、持続可能な発展に寄与する将来的分野を積極的に採択する。

5. 原子力科学・技術分野における人材基盤強化のための協力

FNCA のネットワークを活用して大学、研究機関間の組織的な人材交流を活性化するとともに、人材基盤強化に関する取組の情報交換を促進する。

6. パブリックコミュニケーションの拡大と関連国際機関との協力強化

原子力エネルギー関連技術の公衆認識と信頼性の積み上げを FNCA のウェブサイト、オープンセミナーやオープンレクチャー等の広報機能を通じて引き続き促進し、また IAEA、OECD/NEA など関連国際機関との協力関係を維持、強化する。